

## H28 シカ年度個体数調整事業計画について

### A. 遺産地域内（環境省 釧路自然環境事務所）

#### A-1. 知床岬地区（捕獲目標頭数 51 頭）

##### 【現状・課題】

- ・ 2007 年度より密度操作実験・個体数調整を実施。
- ・ 植生に関しては、草原台地上のクマイザサの稈高、イネ科草本の現存量、在来植物群落の群落高や植被率及び一部の指標種（嗜好種）において回復傾向がみられる。
- ・ 2016 年に実施した航空カウント調査によるエゾシカ発見密度は、17.6 頭/km<sup>2</sup>。
- ・ 南側からのシカ流入が少ないと、厳冬期における大人数による捕獲の費用対効果が低くなるのが課題となっている。

##### 【事業計画】

- 期間：
  - ・ 流氷期（追い込み猟・へり）：2 月下旬に 1 回。
  - ・ 残雪期・無雪期（追い込み猟・船）：4 月～5 月に 2～3 回。
- 捕獲目標頭数：51 頭（生息密度を 5 頭/km<sup>2</sup>にするため）

#### A-2. ルサー相泊地区（捕獲目標頭数 20 頭 + $\alpha$ ）

##### 【現状・課題】

- ・ 2012 年度より密度操作実験・個体数調整を実施。
- ・ 植生に関しては、集中的に個体数調整を行っているルサー地区ではイネ科草本の回復がみられる。
- ・ 2016 年に実施した航空カウント調査によるエゾシカ発見密度は、5.7 頭/km<sup>2</sup>。
- ・ 相泊以北については物理的に捕獲が難しい点が課題となっている。

##### 【事業計画】

#### ① 囲いわな（ルサー・既設）

- 期間：ヒグマの出没状況を見つつ 4 月末まで捕獲を実施。
- 備考：補助的にくくりわなによる捕獲を実施。
- 捕獲目標頭数：20 頭（H27 シカ年度実績）
- 2 月 16 日時点捕獲数：5 頭（くくりわな 5 頭）

#### ② 船舶を使用した相泊以北の捕獲実験

- 期間：2 月～4 月に週 1 回程度捕獲を実施。
- 実施個所：クズレハマ川河口～メガネ岩付近の海岸及び海岸段丘斜面
- 実施方法：船外機 2 隻（捕獲船、回収船）で出航し、相泊漁港以北の海岸付近のシカを捕獲。船上からの捕獲や上陸しての捕獲を試行する。
- 2 月 16 日時点捕獲数：6 頭（2 回実施）



図1. ルサー相泊地区における H28 シカ年度エゾシカ捕獲事業実施予定地点

### A-3. 幌別～岩尾別地区 (捕獲目標頭数 100 頭)

#### 【現状・課題】

- ・ 2011 年度より密度操作実験・個体数調整を実施。
- ・ 植生に関しては、草原のオオヨモギ、森林のマイヅルソウなどがわずかに回復する傾向がみられているが、嗜好性植物や稚樹類はほとんど回復がみられないままである。
- ・ 2016 年に実施した航空カウント調査によるエゾシカ発見密度は、6.1 頭/km<sup>2</sup>。
- ・ 冬期のアクセスが困難な東部（硫黄山登山口付近～五湖の断崖）及び観光地を含む西部（岩尾別川～幌別川左岸）について十分な捕獲圧をかけられておらず、局所的に高密度のエリアが残っている点が課題となっている。

#### ①仕切柵を用いた大型囲いわな式捕獲（岩尾別台地・既設）

- 期間：1 月下旬から 4 月まで捕獲を実施。
- 捕獲目標頭数：20 頭 (H27 シカ年度実績の 70% 程度)
- 2 月 16 日時点捕獲数：12 頭

②流し猟式 SS (岩尾別川河口)

- 期間：2月～3月に週1回程度捕獲を実施。
- 捕獲目標頭数：20頭 (H27 シカ年度実績と同程度)
- 2月16日時点捕獲数：4頭 (3回実施)

③囲いわな (幌別川河口・再設置)

- 期間：3月下旬まで捕獲を実施。
- 捕獲目標頭数：40頭 (H27 シカ年度実績の70%程度)
- 2月16日時点捕獲数：9頭

④箱わな (岩尾別川河口、プユニ岬付近、幌別川河口・新規)

- 期間：2月から3月まで捕獲を実施。
- 捕獲目標頭数：20頭 (H27 シカ年度隣接地域における箱わな捕獲実績)
- 2月16日時点捕獲数：13頭 (幌別5頭、岩尾別8頭)

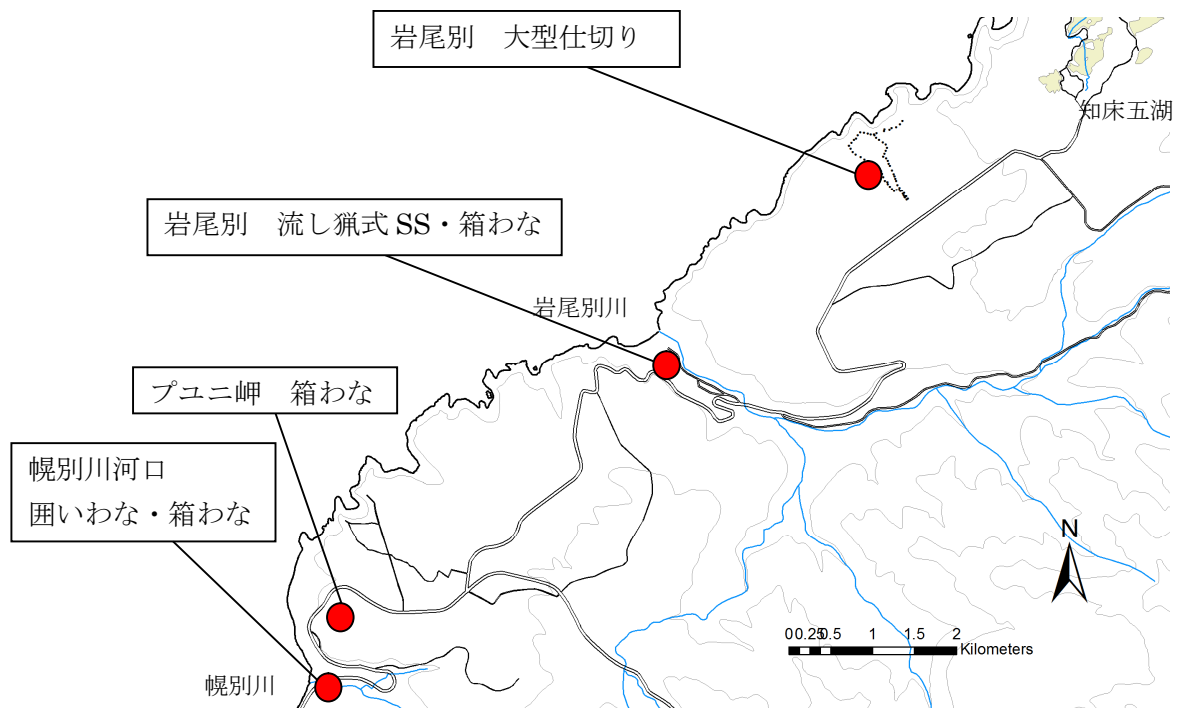


図2. 幌別ー岩尾別地区における H28 シカ年度エゾシカ捕獲事業実施予定地点

## B. 遺産隣接地域(林野庁 北海道森林管理局)

### 【現状・課題】

- ・2013年度より個体数調整を実施。
- ・植生に関しては、斜里町ウトロ地区から真鯉地区、及び羅臼町南部の低標高域から海岸段丘において、シカ越冬地を中心に強い影響が進行中である。
- ・2016年に実施した航空カウント調査によるエゾシカ発見密度は、斜里町側で3.9頭/km<sup>2</sup>、羅臼町側で3.2頭/km<sup>2</sup>。
- ・捕獲の様子が観光客の目に付きやすいこと、今後シカ肉の持続的な利活用も視野に入れて個体数調整を行うことが課題となっている。

### B-1. ウトロ地区 (捕獲目標頭数 140頭 ※三段滝を含まない) ①既設囲いわな (ウトロキャンプ場、フンベ川、弁財崎、三段滝 (三者協定))

#### ●期間：

- ・ウトロキャンプ場、フンベ川、弁財崎  
1月上旬から3月中旬まで捕獲を実施。
- ・三段滝  
12月から4月まで捕獲を実施。

#### ●捕獲目標頭数：ウトロキャンプ場40頭 フンベ川30頭 弁財崎50頭 (三段滝50頭)

#### ●2月16日時点捕獲数：ウトロキャンプ場5頭 フンベ川0頭 弁財崎8頭 三段滝0頭

#### ②新規囲いわな (ウトロ東)

#### ●期間：1月中旬から3月中旬まで捕獲を実施。

#### ●捕獲目標頭数：20頭

#### ●2月16日時点捕獲数：8頭

### B-2. 遠音別地区 (捕獲目標頭数 100頭)

#### ①既設囲いわな (オシンコシン崎①、オシンコシン崎②)

#### ●期間：1月中旬から3月中旬まで捕獲を実施。

#### ●捕獲目標頭数：オシンコシン崎①40頭 オシンコシン崎②50頭

#### ●2月16日時点捕獲数：オシンコシン崎①8頭 オシンコシン崎②5頭

#### ②銃による捕獲 (モバイルカリング・遠距離射撃)

#### ●実施場所：オペケプ林道、遠音別川(遠距離射撃のみ)

#### ●期間：3月上旬から中旬に各場所で2回捕獲を実施。

#### ●捕獲目標頭数：10頭

#### ③林道等除雪による一般狩猟支援

#### ●実施場所：オペケプ林道(約3km)

#### ●期間：12月下旬から2月下旬までの狩猟期間中に除雪を実施し、一般狩猟者による捕獲を支援する。

### B-3. 真鯉地区 (捕獲目標頭数 30頭)

①既設囲いわな (マコイ沢)

●期間：可猟期間が終了する3月上旬から3月中旬まで捕獲を実施。

●捕獲目標頭数：10頭

②既設箱わな (金山川)

●期間：可猟期間が終了する3月上旬から3月中旬まで捕獲を実施。

●捕獲目標頭数：20頭

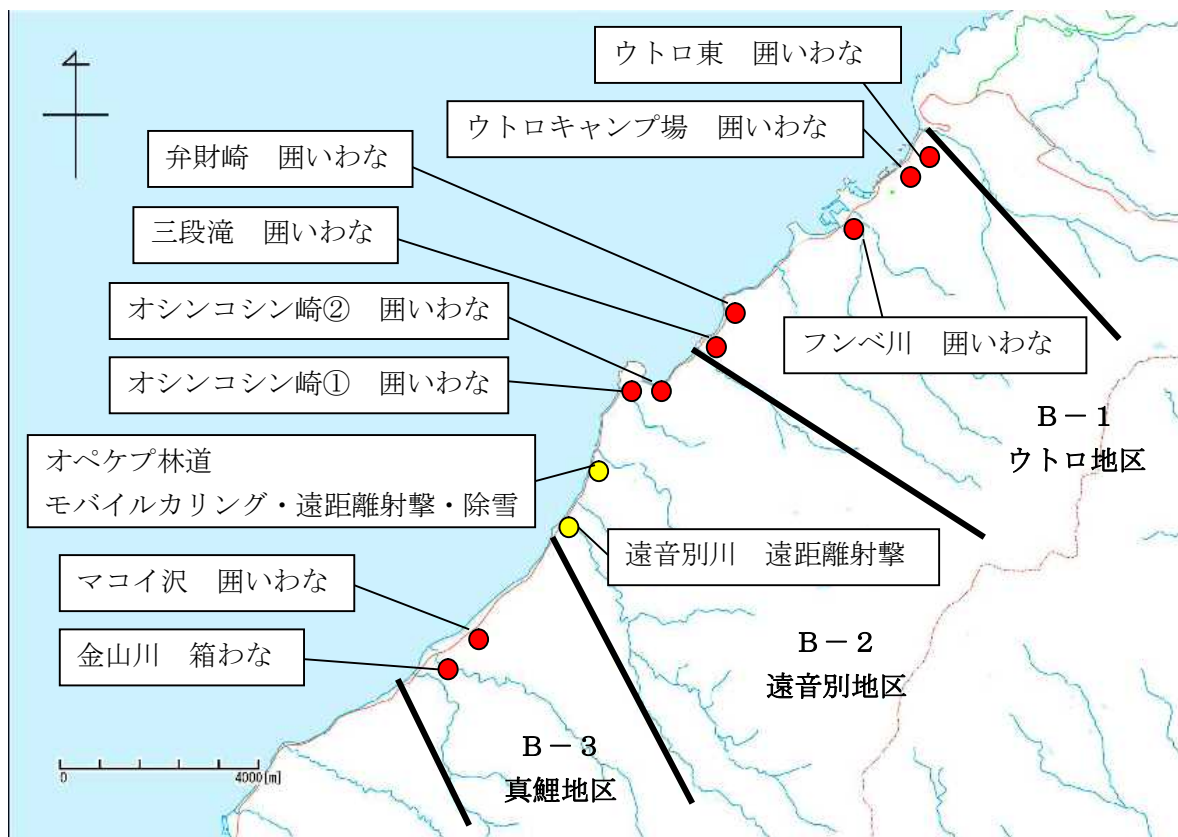


図3：遺産隣接地域におけるH28シカ年度エゾシカ捕獲事業実施予定地点